九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

QREC

九州大学 ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター

〒819-0395　福岡市西区元岡744　パブリック１号館（CF1）2階
TEL：092-802-6060　FAX：092-802-6065
URL:http://www.qrec.kyushu-u.ac.jp/
email：support@qrec.kyushu-u.ac.jp

2015年7月発行

Change the future.

未来を変えよう。劇的に。

QREC | 九州大学 ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター
Robert T. Huang Entrepreneurship Center of Kyushu University

Message メッセージ

九州大学 ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター（QREC）は、新しい価値創造にチャレンジし、社会変革を引き起こすグローバルリーダーの育成を目指します。

谷口　博文
Hirofumi Taniguchi

ロバート・ファン/
アントレプレナーシップ・センター
センター長
産学連携センター 教授

QRECはロバート・ファン博士の寄付を契機に、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーを改組して2010年に設立された九州大学の学内共同教育研究センターです。

この5年間で、起業家精神（アントレプレナーシップ）に富む人材育成のための体系的なカリキュラムを編成し、ビジネスの世界だけでなく、全学の新たな価値創造にチャレンジする学生に対して、30科目に及ぶプログラムを提供するに至りました。このような他に例を見ない総合的な取り組みに対して、2013年度の科学技術白書で高く評価されたところです。

今後は、自ら考え行動するアクティブラーナーにプロジェクトベースの多様で実践的な教育機会を提供するとともに、起業につながるエコシステムの構築と世界の大学・研究組織との連携によるグローバルな展開を図り、社会への貢献を目指して自ら新たな取り組みにチャレンジしていきたいと考えています。

皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

ロバート・ファン 博士
Dr. Robert T. Huang

シネックス・コーポレーション
（SYNNEX Corporation）
創業者、前会長
スリープログループ株式会社　取締役
九州大学　名誉博士

グローバルな舞台でイノベイティブな起業家をいかに育成していくかが一番重要です。

QRECは創立以来5年目になりました。谷川前センター長のリーダーシップと講師皆様の努力及び大学のサポートで延べ2000人以上の学生がQRECの講義を受けてこられました。大変な実績を作り上げられたことに心から感謝と誇りの気持ちを述べさせていただきます。

去る6月、谷口新センター長が着任挨拶でシリコンバレーに来られました。今までの基礎をもとに新しいビジョンを聞かせていただきました。グローバルな舞台でイノベイティブな起業家をいかに育成していくかが一番重要な課題ではないかと思います。

福岡市は日本のスタートアップを育てる戦略都市であり、高島市長も最近自ら視察団を率いてシリコンバレーを訪問されました。今後QRECのプログラムをもっと活かして、産官学の力を合わせて日本のスタートアップに貢献することを心より期待します。

History

沿 革

1996.4	ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（VBL）設立 ＊QRECの前身
1997	チャレンジ&クリエイション（C&C）開始
2006	アントレプレナーシップ・プログラム（QREP）開始
2010.12	ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター（QREC）設立 ＊VBLを改組・再構築
2011	正規講義を開講（16科目でスタート）（基礎8・応用7・実践1）
2012	●全国VBLフォーラムを主催
2013	●教育者のためのアントレプレナーシップ教育に関する3日間の国際ワークショップ（IWEE）を開催 ●平成25年度科学技術白書にQREC教育が掲載
2014	●グローバル・チャレンジ&クリエイション（G.C&C）開始 ●文部科学省のEDGEプログラムに採択 ●アールト大学との連携契約締結 ●第9回ニッポン新事業創出大賞・「支援部門」最優秀賞の経済産業大臣賞を受賞 ●福岡市と連携（イノベーションスタジオ福岡実施）
2015	正規講義を全31科目まで拡大

About QREC

QRECとは

1 使命

新たな価値の創造にチャレンジし世界に羽ばたくリーダー人材の育成

- 九州大学の学生に対し、先進的なアントレプレナーシップ関連教育を提供することにより、九州大学から自立心、向上心、グローバル意識を有し、積極的に新しい価値創造にチャレンジする、世界に羽ばたくリーダー人材を輩出します。
- ベンチャー起業に限らず、大企業、アカデミア等を含む社会のあらゆる分野で、新たな価値創造に挑戦する人材育成を目指します。
- 地域におけるアントレプレナーシップ醸成のハブを確立します。

2 育成すべき人材

次代を担うグローバル・リーダー

- 自ら機会を発見・創造して、目標と道筋を構想する能力ある人材
- 新たな価値創造に対して積極的に挑戦する人材
- 個人としての自立意識を持つ人材
- 社会や世界を幅広く俯瞰できる知識と能力を持つ人材（T字型人材、グローバル人材）
- 知識を社会で活かす意欲と具体的価値を創造する能力ある人材（MOT人材）

3 目標

アジアでトップクラスにランキングされる教育・研究組織を目指す

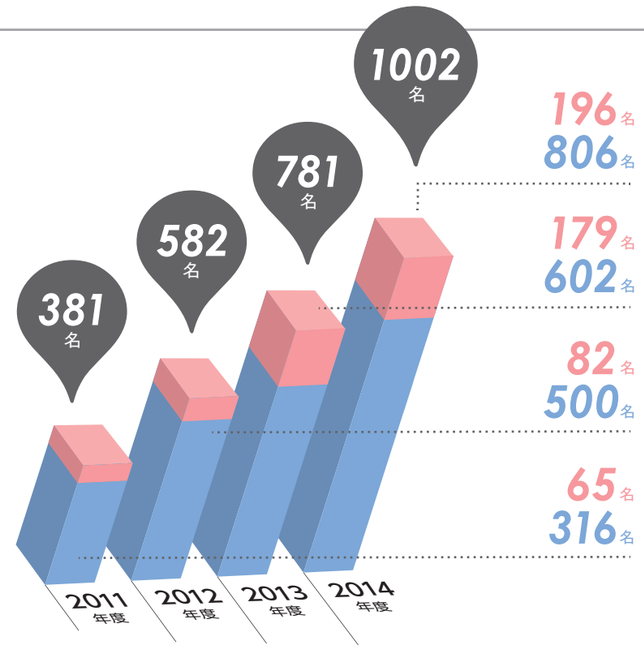
新興国ビジネスや社会的起業等、現代的な課題への対応力養成も含めた、ユニークかつ国際的競争力ある組織として、九州、日本はもちろんのこと、アジアにおける本格的かつトップクラスのアントレプレナーシップ教育・研究組織を目指します。

Global［ グローバル ］
米国やアジアなど、世界の大学や企業等とネットワークを結び、国際標準の教育カリキュラムを目指します。

Practical［ プラクティカル ］
座学による講義に留まらず、具体的なプロジェクトベース教育、双方向のディスカッション等、リアルでインパクトのある講義を行います。

Design［ デザイン ］
新しい社会的価値実現のためには、問題が何かを探索し発見した問題解決のための構想を立てること（Design）が必要です。

4 総受講生数



5 活動

国内外の主要大学等とも連携した先進的なアントレプレナーシップ教育

九州大学の全学生を対象に、先進的で体系的なアントレプレナーシップ教育を行うとともに、同教育において定評ある海外諸大学を中心に、国内外の大学等と連携を構築し、教育・研究活動を行っていきます。あわせてQRECでは次の4点をベースに、それぞれが関連しあう取り組みを行っています。

特色

教育
- 学部/大学院一貫の体系的科目の提供
- アントレプレナーシップ教育とMOT教育などの融合

社会連携
- プラクティカル、産学連携（双方向参加型・体験型・実践的教育の実施）

研究
- 現代ニーズへの対応したアントレプレナーシップ研究・教育法の研究（新興国ビジネス・社会的起業等）

組織運営
- 分野融合と多様性の確保（学内部局と相互連携し、教育の企画・実施）
- グローバル性の重視（世界の主要大学等と連携し、国際的な教育の実施）

Curriculum

カリキュラム体系

カリキュラムにある科目は、全学の学生が副専攻的な位置付けで履修することができ、基礎から実践へと段階的にアントレプレナーシップが学習できるようにデザインしています。

知識や方法論を理解した上で、実際に実践してみる教育

Integration

課題解決のためのアイデアを実現する方法や知識を得る教育

Knowledge/Tool

Organization/Group Dynamics

事業を進めるための組織やチームづくりを学ぶ。

Finance

資金調達方法を学ぶ。

Marketing/Strategy

市場創造、事業戦略を理解する。

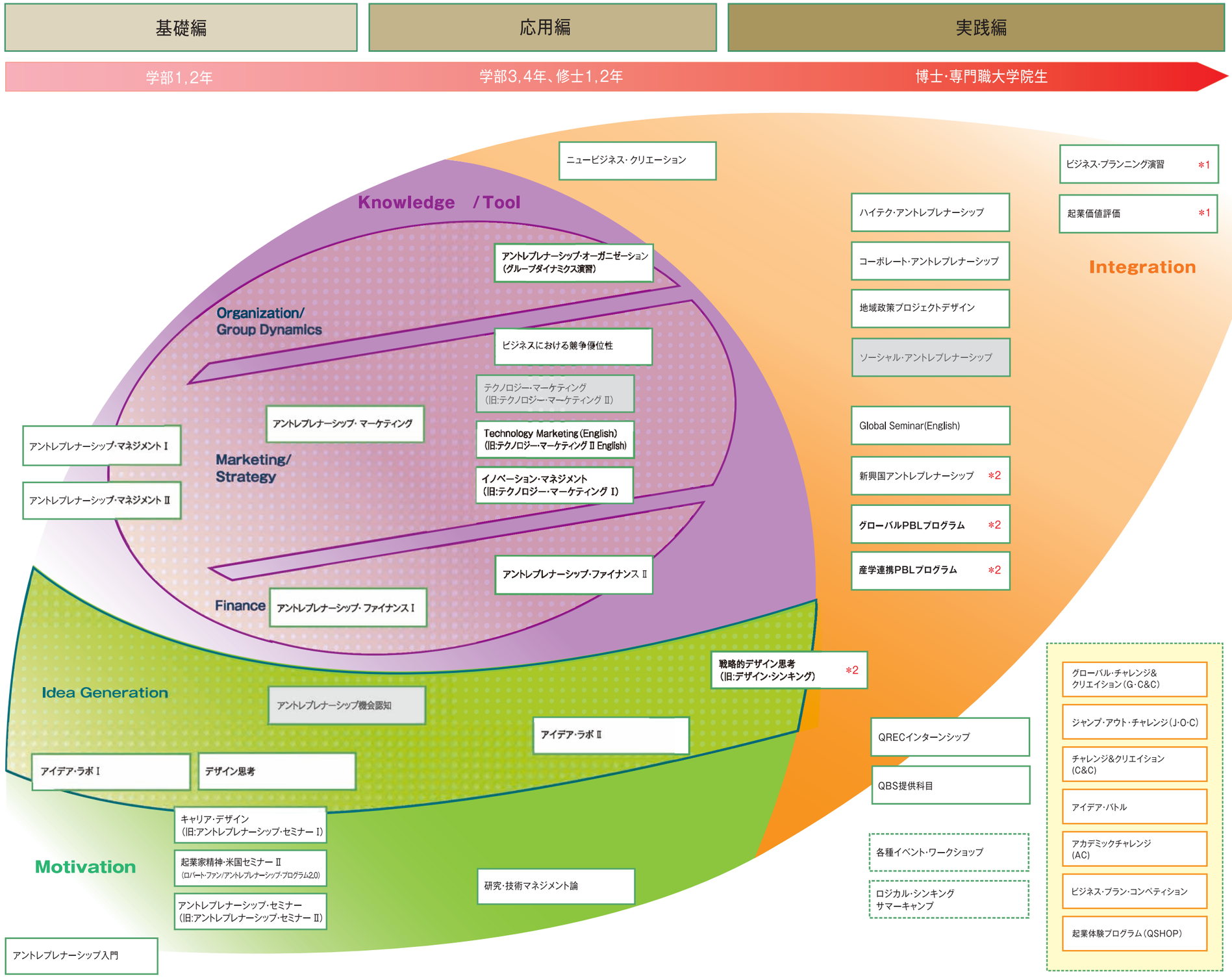
Idea Generation

問題解決のための「アイデア創出」の方法をトレーニングする。

社会の「課題」を理解し、自らの夢実現のため「行動」することの重要性に気付く教育

Motivation

（2015年3月現在）



QRECではこれらの流れに沿った科目を用意しています。

太字			
2015年度新規開講科目	2015年度開講無	2015年度企画中のイベント、ワークショップ	QRECプログラム

*1 2016年度以降開講予定

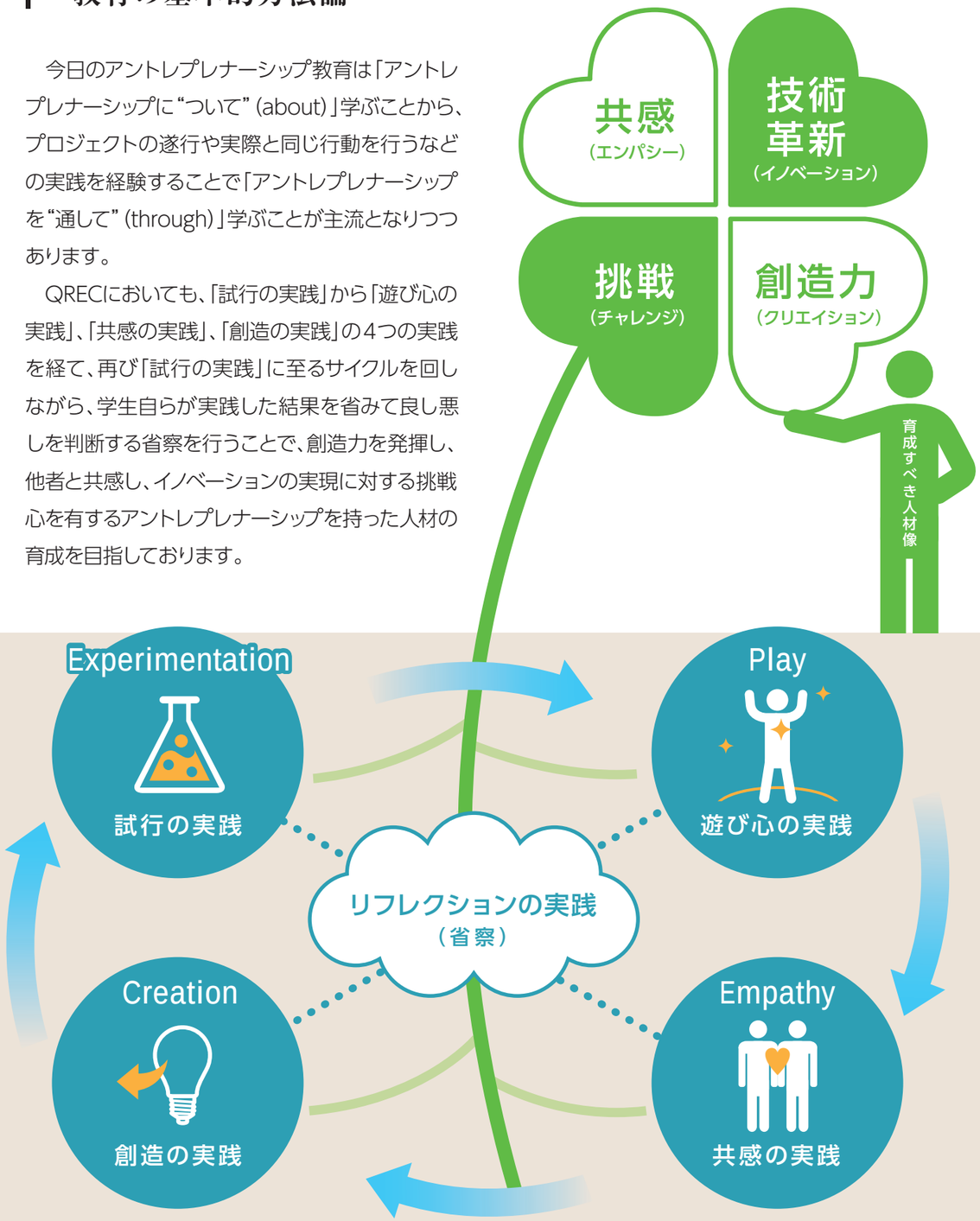
*2 EDGEプログラム

EDGEとは、Enhancing Department of Global Entrepreneur Programのことで、文科省より採択されたグローバルアントレプレナー育成促進事業のこと。

QRECのアントレプレナーシップ教育の基本的方法論

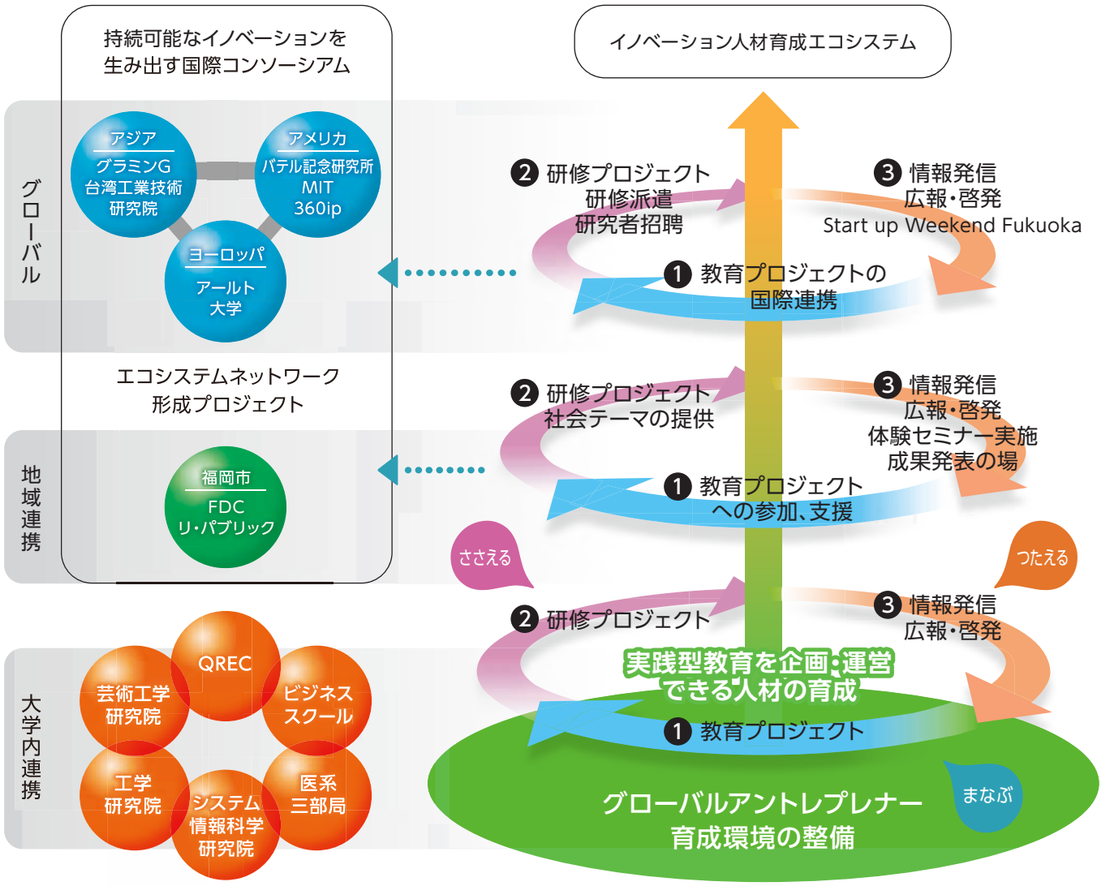
今日のアントレプレナーシップ教育は「アントレプレナーシップに“ついて”(about)」学ぶことから、プロジェクトの遂行や実際と同じ行動を行うなどの実践を経験することで「アントレプレナーシップを“通して”(through)」学ぶことが主流となりつつあります。

QRECにおいても、「試行の実践」から「遊び心の実践」、「共感の実践」、「創造の実践」の4つの実践を経て、再び「試行の実践」に至るサイクルを回しながら、学生自らが実践した結果を省みて良し悪しを判断する省察を行うことで、創造力を発揮し、他者と共感し、イノベーションの実現に対する挑戦心を有するアントレプレナーシップを持った人材の育成を目指しております。



グローバルアントレプレナー育成促進事業

文部科学省の平成26年度科学技術人材育成費補助事業の一つである「グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGEプログラム)で本学ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター(QREC)が中心となり提案した「九州大学グローバルイノベーション人材育成エコシステム形成事業」が採択されました。



(EDGEプログラム:Enhancing Development of Global Entrepreneur Programの略)

Project Program

学生プロジェクト

QRECでは、学生の「アイデアをかたちに」をコンセプトに国内外に通用するアクティブ・ラーナーの育成、イノベイティブな事業創造へのチャレンジを推進しております。アクションベースの経験を通じて学べるよう段階を設け、ステップ毎にチャレンジの場を提供しています。

詳しくは下記サイトよりアクセスしてください。

アイデア・バトル http://qrec.kyushu-u.ac.jp/ideabattle
グローバル・チャレンジ&クリエイション（G.C&C） http://qrec.kyushu-u.ac.jp/gcc
チャレンジ・クリエイション（C&C） http://qrec.kyushu-u.ac.jp/cc
ジャンプ・アウト・チャレンジ（J.O.C） http://qrec.kyushu-u.ac.jp/joc

教育プログラム

QREP2.0
起業家精神・米国セミナーⅡ
（ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・プログラム2.0）

詳しくは ► http://qrec.kyushu-u.ac.jp/qrep

九州大学出身で米国シネックス社の創業者・前会長であるロバート・ファン博士らの支援によるアントレプレナーシップ（起業家精神）と国際意識の涵養を目的とした教育プログラムです。

アントレプレナーシップ・セミナー

起業家精神涵養と学生個々が自らのキャリアパスを考える機会提供を目的として、オムニバス形式に企画・開催していきます。

詳しくは ► http://qrec.kyushu-u.ac.jp/entreseminar

Organization 組織

QREC コア教員

教授 谷口 博文

ロバート・ファン/
アントレプレナーシップ・センター
センター長
産学連携センター

専門分野
公共政策、産学連携

准教授 五十嵐 伸吾

ロバート・ファン/
アントレプレナーシップ・センター
副センター長

専門分野
アントレプレナーシップ、経営戦略論

特命教授 谷川　徹

ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター 特命教授
（九州大学グローバルアントレプレナー育成促進事業：EDGEプログラム総括リーダー）

専門分野
地域経済政策、アントレプレナーシップ、産学連携

准教授 牧野 恵美

分子システムデバイス国際リーダー教育センター

専門分野
経営戦略論、知識創造理論、社会システム理論、ポジティブ組織開発、アプリシアティブ、インクワイアリー（Appreciative Inquiry）、アントレプレナーシップ

教授 高田　仁

経済学研究院
産業マネジメント部門

専門分野
産学連携マネジメント、技術経営（MOT）、アントレプレナーシップ

准教授 朱　穎

経済学研究院
産業マネジメント部門

専門分野
イノベーションマネジメント

准教授 平井 康之

九州大学大学院
芸術工学研究院
デザインストラテジー専攻

専門分野
インテリアデザイン、オフィスデザイン、ものづくりデザイン、インクルーシブデザイン

教授 原田 裕一

産学連携センター

専門分野
ナノサイエンス、ナノテクノロジー
国際産学連携
技術経営

QREC外部アドバイザー会議委員

ロバート・ファン
シネックス・コーポレーション　創業者、前会長
スリープログループ株式会社　取締役
九州大学　名誉博士

松田 修一
ウエルインベストメント株式会社 取締役会長
日本ベンチャー学会前会長、現理事
早稲田大学　名誉教授 商学博士

リチャード・B・ダッシャー
スタンフォード大学　教授
アジア・米国技術経営研究センター所長

山川 恭弘
Babson College
Associate professor of entrepreneurship

長谷川 裕一
株式会社はせがわ　相談役
公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会 会長

アレン・マイナー
株式会社サンブリッジ　代表取締役会長
初代日本オラクル代表

徳田 和嘉子
株式会社CROSS FM　代表取締役社長
ネクスト・キャピタル・パートナーズ株式会社
マネジャー

佐谷 宣昭
株式会社バイブドビッツ
代表取締役社長　CEO

鍵本 忠尚
株式会社ヘリオス　代表取締役社長

敬称略（2015年4月現在）